

科名： 住居環境科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	専門課程	施工図実習 I	必須	5期	2	4
教科の区分	専攻実技					
教科の科目	建築施工実習					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
工務店(住宅)における施工・施工管理業務 工務店(住宅)における意匠設計業務 設計事務所における意匠設計業務						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
木造建築物の建築生産に必要な施工図作成技術を習得します。	①	伏図と加工図が作成できる。				
	②	詳細図が作成できる。				
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
	⑩					

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	建築施工 I で学んだ木造建築物の施工的な特徴をもう一度復習することをお勧めします。また、基礎製図で学んだ基本的な製図記号等については、必ず確認をして置いてください。
授業科目についての助言	基礎的な製図の記号等のルールについては十分に理解をしてください、また、この実習においては、木造建築物の構造体及び仕様については独特なルールが有りますので十分にポイントを押さえてください。
教科書および参考書(例)	教科書: 自作プリント
授業科目の発展性	<pre> graph LR A[建築施工 I、II] --- B[仕様及び積算] A --- C["(施工管理)"] B --- D[建築施工実習 I、II] C --- D E[建築測量] --- F[建築測量実習] D --- F </pre>

評価の割合(例)								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
評価割合	授業内容の理解度				100			100
	技能・技術の習得度				20			
	コミュニケーション能力				30			
	プレゼンテーション能力				30			
	論理的な思考力、推論能力							
	取り組む姿勢・意欲					20		
	主体性・協調性							

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	施工図実習 I で学ぶべき概要説明及び表示記号課題実習	講義、実習	木造施工図の表示記号を理解するために課題実習を行います。
2週	基礎伏図の作成	実習	基礎の形状と、基礎と土台を緊結を理解します。
3週	1階床伏図の作成	実習	土台、大引き、火打ち材等の標準的な寸法及び力学的に考慮した納まりを理解します。
4週	2階床伏図の作成	実習	胴差し、大梁、根太、火打ち材等の標準的な寸法及び力学的に考慮した納まりを理解します。
5週	小屋伏図の作成	実習	軒桁、小屋組等の標準的な寸法及び力学的に考慮した納まりを理解します。
6週	仕口加工図の作成	実習	在来軸組み構法独特の仕口部分の特徴とについて理解し、力学的な観点からも理解できるようにします。
7週	矩計図の作成	実習	在来軸組み構法の標準的な特徴的である納まりについて理解します。
8週	各部納詳細図の作成	実習	重要となる各部分の詳細図面の基本的な納まりについて理解します。
9週	木造建築物の総括まとめを行う	演習	各自の完成図面をもとに施工図作成の技能・技術を整理し、確認を行います。